

報告日: 2009 年 10 月 1 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 1 班 報告者氏名: 岡田拓也

1. テーマ:名古屋市内の地球温暖化問題
2. 1の説明:普段の生活によって名古屋市内に与える影響。
 - ・ 自動車の排気ガス、工場、冷房（・・・電力）
 - ・
- 3 調査方法:資料収集（インターネットや図書館など）、アドバイザー教員への質問
- 4 全体の日程:10月 調査
 - 11月 まとめ（パワーポイント）→11/19 発表
 - 12月 検討→12/17 発表 （ポスター・パワーポイント）
 - 1月 報告書

報告日: 2009年10月1日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 2 班 報告者氏名: 村瀬 栞史

1

中部国際空港(セントレア)における海水腐食、塩害について

2 中部国際空港(セントレア)の老朽化についての対策を主に調査する。

3 調査動機

今年開港4年を迎える中部国際空港(セントレア)はあと何年使用できるのか？

- ・ 問題
- ・ 現状
- ・ 対策
- ・ 維持コスト
- ・ 耐久性

Etc...

中部国際空港(セントレア)に直接行く機会があるので、職員の人に質問する。

4

中部国際空港(セントレア)について疑問を徹底的に調べる。

現地に赴き関係者に質問

質問をまとめ、資料作成

ポスター作成

つめの調査等をし、まとめ、発表へ。

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。

報告日: 20 09 年 10 月 1 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 3 班 報告者氏名: 杉本 英治

1、テーマのタイトル

名古屋市のごみに対する取り組みについて

2、テーマの説明

名古屋市が行っているごみに対する取り組みを調べ、その取り組みの問題点や改善点について考える。例えば、ペットボトルのリサイクルは現状では再処理の業者に引き渡されずに中国に輸出され燃料として利用されている、等。

3、どんな調査を考えているのか。現場はどういうところを想定するか

- ・インターネット
- ・市役所に行きインタビュー

4、全体の日程

- 1、パソコン、本で調べる・調査するために学校外へ出る。
- 2、中間発表のためにパワーポイントにてまとめる。
- 3、再び調査
- 4、研究報告会のためにパワーポイントに中間発表以降で調べた内容を含めまとめる。
- 5、ポスターセッションのために展示用ポスターの制作
- 6、提出するための報告書作成

報告日：平成 21 年 10 月 1 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ： 4 班 報告者氏名： 小川 竜治

1. タイトル:迫りくる巨大地震

2. 説明

近年来るといわれている東海大地震が及ぼす被害の規模とそれに対して名古屋市がどのような対策をとっているか。

3. 調査方法

名古屋市で地震対策の研究をしている施設に訪問する。
名古屋市港防災センターを訪問する予定。

4. 全体の日程

10/8 施設訪問にあたっての調査・質問事項の確認

10/29 防災センター訪問

11/5 , 11/12 調査報告まとめ

11/19 中間報告会（問題提起のみ）

11/26 , 12/3 , 12/10 問題解決の提案検討(アドバイザー教員に相談)

12/17 報告会

12/24 報告書作成

1/7 提出

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。

報告日: 2009年 10月 1日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 5班 報告者氏名: 岩田 亮

1. テーマのタイトル

名古屋港の水質

2. テーマの説明

- ・ なぜ汚れたか
- ・ 水質の時代による変化。
- ・ 改善方法(対策)。
- ・ 周り(川など)に与える影響

3. どんな調査方法を考えているのか

- ・ 現地調査。
- ・ インターネットや、文献。
- ・ 役所へ行く。
- ・ 昔から住んでいる人の話を聞く？

4. 全体の日程

- ・ 下調べ。
 - └ インターネットや、文献。
- ・ 現地へ行く。
 - └ 名古屋港へ行ってみよう！(名古屋港水族館へも行ってみたい。)
 - └ 昔からすんでいる人がいたらいいな。
- ・ 役所へ行く
 - └ 港区役所？
 - └ 環境科学研究所
- ・ まとめる。
 - └ 再度調べなおすことがあったら調べる。
 - └ パワーポイント

報告日: 2009 年 10 月 1 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 6 班 報告者氏名: 寺田 直司

1テーマ

在来種と外来種

2テーマの説明

外来種と在来種の関係について調べる、どんな影響を与えているのか

3調査方法

インターネット、本

名古屋市役所に聞き取り調査をする

川や池に行き、生態系を調査する

4全体の日程

インターネット

聞き取り調査

川や池へ行き調査

資料の作成

報告日：2009年10月1日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ：7班 報告者氏名：大野 中村 堀上

タイトル：名古屋市のこれからの土地の利用法

説 明： 名古屋市では、平成12年9月に策定された長期総合計画「名古屋新世紀計画2010」にあわせて、将来の都市像や土地利用・都市施設などの整備方針を明らかにし、市民・企業・行政のパートナーシップにより地域の特性を生かしたまちづくりをすすめる総合的なガイドラインとして、「名古屋市都市計画マスタープラン」が平成13年9月に策定されたところであり、そこに示されている「都市空間将来構想」（長期的かつ広域的な視点での都市構造や土地利用といった名古屋市の都市空間形成の方向性）の実現をめざした土地利用の誘導を図ることが課題となっている。

上記の「名古屋新世紀計画2010」を主に調べる。

調査方法： インターネット

先生に聞く

名古屋新世紀計画2010資料

全体の日程： 第1～3回でテーマの元になる情報収集
第5～7回でワード&パワーポイントの作成
第9～10回で中間発表での問題点の直し
第11～12回でポスターの作成
第13～14回は今までの直し

報告日: 20 09 年 10 月 1 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 8 班

報告者氏名: 北出 真 西川 成 木下 愛里

『水害避難計画(仮)』

高潮・ゲリラ豪雨の被害と特性について。



過去の水害から被害を出し、それを元に今後の大きな水害を想定し、推考する。



上記の被害から、現在の避難経路や方法について。



現在の災害対策施設について。(地震・火災・水害が同じ施設が現状。水害のジャンルの違いについて説明)



水害に適した対策施設と、安全避難経路、避難不能住民の救助方法について提議する。



特定場所の水害の理由について考える



今後の道や施設、民家の立て方について^{提議}定義する。

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。